

子どもが主役の学び
そこから始まる
地域づくり



「市民立」の学校をつくったNPOの挑戦 まおいに学ぶ地域と教育

— 農山漁村における地域づくりを考えるフォーラム —

北海道長沼町の「私立まおい学びのさと小学校」は、NPOが主導し、地域に開かれた学校として誕生しました。学校内に閉じたものではない、地域と連携した学校づくりの事例から、教育と結びついた地域づくりの可能性を考えます。

【登壇者】

NPO 法人まおい学びのさと
代表理事 **健名 美恵子 さん**

まおい学びのさと小学校
副校長 **袋 佑加理 さん**

【日時】
2024 6/29 (土)

13:00~16:00
【場所】
茨城大学 水戸キャンパス図書館
3階ライブラリーホール

参加無料

※オンライン配信もございます

オンライン
をご希望の
方はお申込
みください ▶



主催：茨城大学 人文社会科学部・市民共創教育研究センター（井上淳生研究室）

共催：NPO法人セカンドリーグ茨城 | NPO法人トモニトウ | NPO法人教育のためのコミュニケーション

本フォーラムは、JSPS科研費22K14962の助成を受けたものです。

まおい学びのさと小学校とは？

2023年4月、北海道長沼町に体験を重視した私立小学校「まおい学びのさと小学校」が開校しました。子どもたちの自主性を尊重するという当校の教育理念は、各種メディアの報道を含め、多くの反響を持って受け止められました。入学を希望する家族は北海道内に留まらず、移住を決断する家族も少なくありません。この学校に通いたいという子どもたちがいる限り、教育を入口とした地域への人の流れは途切れることはないはずです。

本フォーラムの趣旨は、こうして始まった学校づくりプロジェクトが、学校内に閉じたものではなく、地域に開かれた取り組みであることを参加者で共有することで、教育と結びついた地域づくりの可能性を考える場とすることです。

まおい小での教育の具体的な話や、地域と学校をつなぐNPO活動の実態などをお話し頂くことで、今後の農山漁村の地域づくりについて考えるきっかけとなれば幸いです。



登壇者の紹介



けんめい み え こ
講師 **健名 美恵子** さん

NPO 法人まおい学びのさと
代表理事

1997年、長沼町の玉ねぎ農家へ嫁いだことをきっかけに長沼町へ移住。2020年、人口減少による学校統廃合計画が町内で進む中、旧北長沼小学校の廃校舎を利用し新しい教育の形を実現しようと活動する、前代表理事細田（現：まおい学びのさと小学校校長）の想いに感銘を受け、子どもたちの未来のためになるのなら！と活動に参加し、NPO法人まおい学びのさと発足メンバーとして理事に就任。地域・NPO・学校を繋ぐ活動に力を注いできた。

2023年、細田が学校法人設立に伴い代表理事に就任し、NPO法人代表理事を任せられ現在に至る。



ふくろ ゆ か り
講師 **袋 佑加理** さん

まおい学びのさと小学校
副校長

2004年4月から2023年3月末まで、北海道の公立小学校教諭として勤務。

2021年にNPO法人まおい学びのさと主催の「教職員向け説明会」へ参加したことをきっかけに、プレプロジェクトの企画・運営に携わる。その後、開校時スタッフとして勤務。



なかの
話題提供 **仲野 いずみ** さん

NPO法人まおい学びのさと
事務局長

2017年、当時小学2年生だった息子が不登校になったことをきっかけに、日本の教育環境について考えるようになり、日本は世界一若者の自殺者が多い国である事を知る。未来を生きる子どもたちを取り巻く環境をより良いものにならなくてはならないと決意し、2018年、現在のまおい小校長細田と出会い、「北海道に自由な小学校をつくる会」を発足し活動開始。その後つくる会は、長沼町との連携を強固なものとするためにNPO法人まおい学びのさととなった。現在は、児童虐待、子どもの自殺防止活動のイベントを主催。子どもの居場所づくりなどにも精力的に活動中。

【当日の内容】

講演①：袋佑加理
(まおい学びのさと小学校・副校長)

講演②：健名美恵子
(NPO法人まおい学びのさと代表)

論点整理：井上淳生
(茨城大学人文社会科学部)

話題提供：仲野いずみ
(NPO法人まおい学びのさと事務局長)

クロストーク：
共催NPOの皆さんを交えての意見交換